

GREATING GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第6戦 クラブマンシリーズ第5戦

9月14日(土)~15日(日)

岡山国際サーキット(岡山県美作市)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup が岡山国際サーキットで行われ、プロフェッショナルシリーズ第 6 戦に吉田広樹選手が出場。吉田選手のサポートは GR Garage 浦和美園の大庭直人に加え、GR Grage 熊本中央の白石圭と古江健が行います。

土曜日の天候は晴。予選は 13 時 40 分から 15 分間で行われ、32 台が出走。吉田選手は 2 周目に 1 分 46 秒 197 のタイムをマークし、8 位につけました。

日曜の天候は曇。決勝は 12 時 50 分より 12 周で行われ、吉田選手はイン側 8 番グリッドから鋭いスタートをきります。 2コーナーを 7 位で抜けると、続くアトウッドコーナーでもポジションアップ。オープニングラップを 6 位で終えます。吉田選手は 2 周目に 1 分 47 秒 371 のファステストラップをマークすると、3 周目に服部尚貴選手(70 号車)との競り合いで失速した青木孝行選手(31 号車)をかわして 5 位にポジションアップ。勢いに乗る吉田選手はさらに、4 周目のバックストレートエンドで服部選手をかわし、4 位まで順位を上げます。その後も吉田選手のペースは良好で、トップ争いの集団に追いつくと、9 周目に富林勇佑選手(504 号車)、11 周目に奥本隼士選手(85 号車)をかわして 2 位にポジションアップ。ファイナルラップに入っても吉田選手の勢いは衰えず、トップを走る菅波冬吾選手(10 号車)との距離を詰めていきます。吉田選手は菅波選手に 1 秒 2 差まで接近したところでチェッカー。8 番グリッドから怒涛の追い上げで今シーズン初の 2 位表彰台を獲得しました。

クラブマンシリーズ第 5 戦には大森和也選手が出場。GR Garage 浦和美園の渡邉颯人と浦和支店の黒川勇輔がサポートします。前戦、十勝スピードウェイではマシントラブルによって未出走に終わった大森選手。上位でチェッカーを受け、ランキングトップとのポイント差を縮めたいところです。予選は A、B の 2 組に分かれて 12 時 40 分から行われ、合わせて 50 台が出走。大森選手は 1 分 50 秒 504 をマークし、A 組 4 位につけます。A 組トップのドライバーが総合首位に立ったため、大森選手は 7 番グリッドからのスタートに。

決勝(12周)は10時15分より行われ、大森選手は7番グリッドから好スタート。6位に順位を上げ、オープニングラップを終了します。2周目にクラッシュしたクルマを回収するためにセーフティカー導入。先導走行は6周目終わりに解除され、7周目からレース再開となります。その後は3位争いの集団からやや離れた位置で周回。懸命に後を追いますが、差が広がり始めます。しかし、3位争いが白熱したことで、集団に接近。そこから脱落した佐藤凌音選手(186号車)をファイナルラップでかわし、5位でチェッカーを受けました。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ #160 GR Garage 浦和美園 BS GR86 **吉田広樹選手 決勝2位** 予選8位 (1分46秒197)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ #522 GR Garage 浦和美園 IDI GR86 **大森和也選手 決勝5位** 予選 A 組 4 位(1 分 50 秒 504)



DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

レースペースは速いのに、予選結果が振るわず、それを活かせな いレースが続いていました。今回の予選も満足のいく走りだったわ けではありませんが、ブリヂストンタイヤを使う選手の中では青木 選手に続く2番目の結果。その青木選手を序盤にオーバーテイク できたことがターニングポイントでした。その先はタイヤ特性の違 いを活かせたことが今回の結果につながったと思います。終盤は トップとの差と残り周回を考えてマシンを労わることを優先しまし た。予選結果がもつと良ければ優勝もあり得たと思うので、そこは まだ課題が残るところです。



GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

練習走行ではタイムが伸びず苦労しましたが、空気圧をかえて臨 んだ予選はうまくはまり、ミスなく走れました。決勝は路面の乾い たアウト側グリッドからスタートできたのでポジションを上げられま した。その後のレースペースが早く、中々3位争いに加われずにい ましたが、終盤にその3位争いが激しくなったことで、追いつき、5 位に上がることができました。初めての岡山でこの結果なら満足 です。次戦の鈴鹿は Yaris での走行経験はありませんが、他の車 種で走り込んだホームコースなので、その経験を活かして上位で 終えたいです。



MECHANIC VOICE

浦和支店 黒川勇輔(522 号車担当)

レース参加は一昨年の Yaris Cup、昨年の GR86/BRZ Cup に続き 3 回目です。昨年のレースに比べてブレーキ周辺の部品 交換や、足まわりの調整など、多くの整備に携わることができたので、とても楽しく、やりがいがありました。担当した大森選手のマシ ンにトラブルがなく走ってくれて今はホッとしていますが、またレースの機会があればS耐や SUPER GT にも参加してみたいです。

次戦予告 10月5日~6日 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

PARTNERS





株式会社カーグラス・JP









株式会社デンソーソリューション



トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



BILLION



丸和工業株式会社

株式会社ミノルインターナショナル

Mechanix Wear LLC





GR Garage熊本中

SPECIAL THANKS